

本校の学校教育目標  
「考える生活者の育成」  
気付き・考え・実行する熊っ子

【本年度の重点目標】  
(1) 学校経営 小規模特認校としての教育活動の特色化と地域との連携による信頼される学校づくり  
(2) 教育指導 学力向上を目指す少人数授業の究明と学びの自立の確立

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策		
学校 組織 ・ 運営 経 営	組織 ・ 運営	<p>学校教育目標や重点目標を意識して目的意識をもって取り組む。</p> <p>3. 3</p> <p>〈結果〉 学校教育目標の実現に向けて、各活動において「気づき・考え・実行する」を児童に意識させて取り組んだ。</p>	<p>・しっかりとした目標を立てて、活動が出てきているので、地域も協力ができている。</p>	<p>・主務者としての責任をもって、提案・運営を行い、反省点を行事の改善に生かす。</p>		
		<p>主たる担当の校務分掌で、1か月前に提案し積極的にリーダーシップをとる。</p> <p>2. 8</p> <p>〈結果〉 前年度の事績を参考にして、1か月前の運営委員会での提案を心がけたが遅れたことがあった。</p>			<p>・少ない人数の中、先生たちが協力して、役割分担ができていると感じる。</p>	<p>・例年通りの提案とせず、行事の前に、昨年度の事績より、反省点を踏まえた改善を行うことを徹底する。</p>
		<p>週案を活用して授業時数を確保し、めあての達成の記入により、質的管理の実践。</p> <p>2. 8</p> <p>〈結果〉 授業時数の確保はできたが、週案の提出が遅れたり提出しなかったりしたことがあった。</p>			<p>・しっかりと授業が行われている。</p>	<p>・週案の提出・点検・評価を確実にし、質的管理を徹底させ、授業の質の更なる向上を図る。</p>
		<p>体験活動は「めあて」を明確にし、児童自ら意欲を持って主体的に学ぶ学習活動とする。</p> <p>3. 8</p> <p>〈結果〉 特に本年度は、感謝の心を育成することを</p>			<p>・熊ヶ畑から離れたが、活動の度に熊ヶ畑に来てくれて、例年通りの活動ができ、そのたびに地域に笑顔が戻った。</p>	<p>・地域の方々との連絡を大切にしてい、児童が積極的に体験活動に取り組めるように、意欲を高める工夫を行う。</p>
		<p>総合 所見</p> <p>7月に被災して上山田小学校に移り、職員も児童も保護者も不安だったのだが、「子供の笑顔を絶やさない」を目標にして、全職員が一丸となり、協働体制の下、まさに「気づき・考え・実行する」を実践してきた。また、多くの方々からのご心配や励ましの声を頂戴し、人の心の温かさを感じながら多忙ではあったが、成就感・充実感のある1年となった。ピンチの中でこそ組織的に教育活動を実践できた。</p>				
		<p>学</p> <p>「熊小授業の進め方（めあて[児童自ら発表]→見通し→一人学び→友だち学び→まとめ→「わがや」タイム→次時は〜）」を徹底し、児童に学び方を身に付けさせる。</p> <p>3. 4</p> <p>〈結果〉 学び方が身につくように、「めあて」と「まとめ」、振り返りの「わがや」を毎時間行うように心がけた。</p>			<p>・複式での授業だと、学力が伸びないので、4・5年生の県の学力テストの成績が平均よりもかなり高いので、先生方が良く頑張っているのだと改めて感じた。今後もお願いしたい。</p>	<p>・児童が主体的に学んだり、友達と学び合ったりできるように更に授業を練る。</p> <p>・児童の意欲を高める「めあて」や「発問」の工夫を行う。</p>

学 校 運 営	カ	丁寧な文字指導（ノート指導、作文指導、ひらがなや漢字の指導等）を行い、児童に身についたか。	2. 8	・きれいよりも丁寧さを大切にして指導をしてください。	・個別の見取りを丁寧に行い、文字の指導を徹底し、書くことに対する意欲を高める。
		〈結果〉 特に低学年は、丁寧な文字指導の徹底ができなかった。作文等の提出だけでなく、毎日の指導を怠りなく行う。			
	向	児童の実態に応じた補充学習により、弱点を克服する。	3. 6	・テストの結果等から、しっかりとできていると感じる。	・弱点についての徹底反復練習だけではなく、長文に慣らしたりしっかりと読ませたりする学習を更に取り入れなければならない。
		〈結果〉 毎週児童の実態合わせた学習課題を準備し、学力の向上につなげることができた。			
	運	家庭学習定着率90%以上を達成し、書き直しややり直しを徹底させる。	3. 8	・家庭での学習は、しっかりと話し合っ、保護者への協力態勢を今まで以上にってもらいたい。	・自学ノートコンテストを活用し、友達のノートを参考にしたり、競い合わせたりすることで、自学の質をさらに向上させる。
		〈結果〉 定着率90%を達成できた。書き直し・やり直しも全員できた。			
	上	学習規律を確立させる。（チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物〇）	3. 2	・研究発表会の時は、みんな集中した素晴らしい態度で授業を受けていた。 ・忘れ物をしないことは大切なので徹底させてください。	・忘れ物ゼロが徹底できない。新たな工夫・手立てが必要である。個に応じた支援を行う。
		〈結果〉 忘れ物ゼロが徹底できていない。聞き方や発表の仕方は良くなってきている。			
	営	立ち止まったあいさつ、心に響く返事、適切な言葉遣い、後片付け、学校の約束を徹底し、児童の規範意識を醸成したか。	3. 2	・あいさつはよくできていて、いつ来ても気持ちが良い。学校外であったときもあいさつをしてくれる。	・心に響く返事、言葉遣いを徹底させるために、教師が引き続き同じ方向で取り組む。 ・日常の授業中の返事の徹底。
		〈結果〉 返事の意識化ができていない。相手に対して呼び捨てや「お前」という言い方を改めさせたい。			
豊 か な	読書活動を質的量的に高める。（めざせ〇〇冊・〇〇ページ、おすすめの本、家庭読書）	3. 2	・読書は、全体的には良く読んでいるが、子どもによっては貸し出し冊数が少ない子もいるようなので、しっかり読ませてほしい。	・図書への貸し出し推進だけではなく、学級でも読書会を開くなど、読書を意識させる。	
	〈結果〉 委員会による読み聞かせや本の紹介を通して、全体としては貸し出し冊数の達成はできた。				
	総合 所見	「学力向上検証サイクル」の確実な循環を目指して、各検査結果の考察・分析・改善を行い、個に応じたきめの細やかな手立てを立てて実践を継続している。授業改善に最も力を入れ、学力の基盤づくりのための文字指導、補充学習（朝の活動・昼チャレンジ・補充タイム）、家庭学習、授業規律の確立にも計画的に継続的に取り組み一定の成果を上げている。少人数の利点を生かし、全教師による全児童への指導、徹底した反復練習により基礎基本の確実な定着を図っている。			
	自ら範を示し、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣いについて指導し、児童相互・児童と教師の好ましい人間関係を構築したか。	3. 7	・呼び捨てや、相手を傷つける言葉が聞かれないので、安心している。	・教師同士や児童への言葉遣いに気を配り、常に相手を大切に思う心をさらに育てたい。 ・授業中に呼名された時の返事が、徹底できていないので、常に返事を心がけさせる。	
	〈結果〉 教師がだれに対しても相手を大切に思う言葉遣いを常に心がけ、児童同士や先生に対する丁寧な言葉遣いをさせることに留意した。特に友達同士での相手が傷つく言葉に対しては、教師が気付いた時に即座に指導した。				

学 校 経 営	心 の 育 成	<b>特別の教科道徳の時間において教科書を活用し、指導と評価を充実させたか。</b> 〈結果〉道徳の時間を必ず実施した。教育事務所の指導主事を招聘して、特別の教科道徳の校内研修を行った。	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の時などに、隣の子にうながしたり、優しく注意をしたり、児童同士の良い人間関係ができていいるのが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間を充実させるために、教材の研究、精選を行う</li> </ul>
		<b>いじめ防止、早期発見・対処について常に気を配り取り組んだか。</b> 〈結果〉毎月のアンケート及び日常の様相観察による教育相談を実施し、児童の様子を見逃さないように努めた。	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも、どこでもいじめは起きると言われているので、常に気を抜かずに取り組んでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果も重視しながら、日常の児童の様子について、アンテナを張り、「これくらいは」と思うところを軽視せずに取り組む。</li> </ul>
	総合 所見	相手を大切にしている心は、育ってきているとは思いますが、自分との利害関係が関わるとどうしても自分中心となり、相手のことまで思いが及ばない発言や行動がでてくる。それを見逃さず、しっかりと心に届く言葉で、児童の身になって指導や説諭を行いたい。また、道徳の時間には、児童の気持ちを揺さぶる教材の研究を行い、授業と日常とがかけ離れないように、工夫した授業づくりが求められる。			
	体 力 向 上	<b>外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図ったか。</b> 〈結果〉2学期当初はあまりできなかったが、徐々に外遊びができるようになった。体力アップシートへの記入が徹底できなかった。	2. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災後は、登下校で歩くことが少なくなった児童が出たのではないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外遊びができるように、奨励する。</li> <li>体力アップシートへの記録の時間を確保する。</li> </ul>
		<b>「早寝・早起き・朝ごはん・少ゲーム」の取り組みを推進する手立てを講じたか。</b> 〈結果〉日常化を図るように、PTA役員会・保護者懇談会で取組の結果を公表し、課題と改善について伝えた。	3. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の確立を保護者と協力して進めてほしい。</li> <li>テレビやゲームの時間が長いようで気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者コメントを学級通信等で呼びかける。</li> <li>特に少ゲームについて、弊害を実感させる研修会を実施する。</li> </ul>
	総合 所見	2学期の初めのうちは、運動場にあまり出ることがなかったが、少し慣れてきてからは、外遊びができるようになった。登下校は、熊ヶ畑の児童や上山田に住んでいる児童は歩いているが、それ以外の児童は駐車場まで自動車できているので、歩くことが少なくなってしまった。中休みや昼休みの運動場での遊びやスポーツを奨励している。それができるための、宿題を忘れない指導や書き直しをしなくて済む日常の指導が必要。			
	家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<b>通信等を通して、保護者・地域に情報を発信する。</b> 〈結果〉学級通信や保健だよりを通して、学校での児童の様子や各活動のお礼などを写真を交えて発信できた。	3. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信等によって、学校での様子が良く理解できており、よく連携ができていいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信による発信は良くできている。ホームページの更新を行うようにする。</li> </ul>
		<b>家庭学習頑張れカード保護者コメント90%以上を達成する。</b> 〈結果〉ほぼ達成ができた。	3. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への働きかけをさらにお願ひします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者にも書いてもらい、児童も忘れずに提出できる、個に応じた手立てを立てる。</li> </ul>
		総合 所見	PTA総会及び毎回のPTA役員会、保護者懇談会等での保護者への啓発の成果で、家庭学習への保護者の関心が高まり、保護者コメントはほぼ毎週全員に提出してもらえた。そのことが児童の家庭学習への意欲の高まりにもつながっている。時々忘れる児童がいたので、忘れないような手立てと意識づけの工夫が必要である。		

学 校 経 営	主 題 研 修 等	国語科複式・少人数授業に係る主題研究を積極的に推進したか。	3. 8	・研究発表会に参加して、児童が集中して授業に参加し、意欲的に自分たちで進める姿を見て驚いた。	・発表会で終わりではなく、日常の授業を発表したのであるから、成果と課題をこれからの授業に生かす。
		〈結果〉研究発表会では、今までの研究の成果が発揮でき、良い評価だったので、さらに継続発展させる。			
		積極的な校外研修への参加や文献による資料収集を行い日常の教育活動に生かしたか。	3. 3	・先生方が良く学ばれていると感心した。	・学んだことをただ報告するのではなく、自分の考えや意見も交えて交流し合えるような研修会としたい。
	〈結果〉学期末の還流研修会を行い、各人が学んだことをしっかりと伝え、学び合うことができた。				
総合 所見	日常の授業の延長上に研究発表会があるという考えで、よそいきの発表ではなく、いつも行っている授業、明日も行う授業を見てもらうという意識で取り組んだ。その姿を多くの方々からプラスの評価をいただき、大きな自信となった。その後も、複式の国語授業を継続し、子どもたちと共に頑張り続けている。還流研修会も、長崎大付属、広島大付属、お茶の水大付属の発表会で学んだ内容等を全員で確認できた。				
環 境 構 成 等	環 境 構 成 等	児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応マニュアルを熟知し、実働できるようにしているか。	3. 3	・安全への配慮をしっかりとお願いします。	・上山田小の危機管理マニュアルを合同で再点検し、全職員での共通理解を図り、常に実働できるように備える。
		〈結果〉上山田小学校における安全管理に努め、節目において上山田小との合同避難訓練により、実働のための訓練を行った。			
		教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行ったか。	3. 7	・児童が過ごすうえで安心できるような掲示物の工夫がされている。 ・作文や絵画等への入賞者の多さは、すごい。先生方の日頃の指導に感謝します。	・少ないスペースを有効活用し、児童作品等を掲示したり、掲示物を充実させ、児童の学習意欲を高める。
	〈結果〉できるだけ児童が違和感のないように、掲示物への配慮を心がけ、児童の心の安定が図れる展示を工夫した。				
総合 所見	環境面に関しては、新しい学校・新しい教室となり、それだけでなく児童の不安が大きいと予想されたので、できるだけ熊ヶ畑小学校の教室の雰囲気や安心して学習等が行えるように、職員が良く頑張って環境整備をしてくれた。そのおかげで、児童は楽しそうに過ごすことができています。自分たちのために一生懸命に準備をしてくれた先生方に応えるように、児童も勉強に運動に本当によく頑張ってくれた。 安全面では、上山田小学校と教務同士がしっかりと連携し、避難訓練等を行うことができた。危険箇所等について、今後も合同で点検し、安全の確保に努めたい。				